

# えのき通信



令和4年3月25日(金)  
武蔵村山市立第九小学校  
校長 村山 博子  
特別支援教室「えのき」

## 御協力ありがとうございました

日ごとに暖かくなり、春の訪れを感じる時期となりました。今年度は、様々な場面で制約のある中で学級がスタートしました。今もなお、流行禍によって世の中は大変な状況ではありますが、できないことを考えるよりも、感染症対策を講じて何ができるのか、本当にやらなければならないことは何なのかを考えながら、教室運営に取り組んでまいりました。無事に令和3年度を締めくくることができたのも、保護者の皆様の御理解と御協力のお陰です。

今後も保護者の皆様と連携を図り、子供たちがそれぞれの良さを活かしながら、在籍のクラスで自信をもって過ごし、一步一步成長していけるように支えていきたいと思っております。一年間、誠にありがとうございました。



## 3学期個別指導計画について

3学期の個別指導計画を同封いたしました。3学期は指導回数が少ないため、短期目標を厳選し、よりよい一人一人の学びに即して伝えられるよう、記載しておりますこと、御承知おきください。よろしく願いいたします。一年間の頑張りを御家庭でも褒めてあげてください。

## 連絡ファイルについて

えのき教室で使用している連絡ファイルは来年度も使用します。御家庭で保管して頂き、4月の指導日に持たせてください。また、中に綴じ込んでいるプリント等も抜いて中身を空にして頂きますようお願いいたします。(長く使用して破れそうになっている場合は、新しいファイルと交換します。)



## 令和4年度 えのき教室の予定

4月14日(木) 「えのき教室」指導開始



### <保護者会のお知らせ>



年度始めの保護者会を下記のとおり開催いたします。何かと御多用のことと存じますが、御参加くださいますよう、御案内いたします。

日時：4月9日(土) 午前10時～ 場所：武蔵村山市立第九小学校2階 家庭科室

# 3学期、こんな活動をしました！



## えのきタイム「お絵描き伝言ゲーム」

食べ物や動物などのお題をチームの先頭に提示し、制限時間内に言葉を使わず絵だけで次の人に伝えていきました。絵を見た人はお題が何かを推理して絵に描きあらわすものの、時には思うように描くことができず、お題から逸れてしまうことがありました。しかし、伝わらないことがあってもそれぞれの共通点を出し合ったり、相違点を楽しんだりすることができました。

## ものづくりタイム「指でこねて作ろう」

紙粘土を使ってオリジナルマグネット作りを行いました。まず、食べ物やキャラクターなど、自分で作りたいものを決めます。その後、ちぎった紙粘土に絵の具を混ぜて、こねていきながら、形を整えていきました。指先を使って小さな紙粘土を丸めたり、手のひらを使って紙粘土を伸ばしたりしながら、個性豊かなオリジナルマグネットが出来上がりました。困ったことや分からないことがある時は、近くにいる友達や教師に助けを求めていました。



## 運動タイム「フライングボールリレー」

ペアで1枚のタオルを両端で持ち、手を使わずにタオルの上にあるボールを別のペアめがけて飛ばします。それをリレー方式で繰り返し、ゴールを目指しました。グループによっては、思うようにボールが飛ばず、ボールが真上に飛んでしまうことや、ボールの威力が強くて、別のペアを飛び越えてしまったことがありました。その際は、タオルをしっかり張って膝を使いながらパスすることや、声を掛けて二人の呼吸を合わせることを意識させました。制限時間内に多くのボールを運ぶことができました。

